

②生産履歴の明確化や減農薬栽培等による付加価値向上

## 有機JAS認定農産物を活用した冷凍ベビーフードの開発及び販路拡大

地元の有機JAS認定農産物(米、かぼちゃ等)のみを用い、生産者の顔が見えるベビーフードの開発と販路拡大を行う。

### ➤ 連携体

**農林漁業者**      **村山信一、中村司郎（以上、農業）**

有機栽培により生産された農産物を、栽培履歴情報とともに(株)土のめぐみに供給する。

**中小企業者**      **(株)土のめぐみ（食料品製造業）**

原料となる農産物の安全性と素材の美味しさを生かし、使い勝手を考慮した、生産者の顔が見える冷凍ベビーフードを開発する。

**連携参加者**      **泉州広告(株)(広告業)**

主に関西地区の育児世代向け情報誌の発信を行い、新製品の販路拡大を支援する。

**サポート機関等**      **熊本県商工会連合会、山都町商工会、地域活性化支援事務局**

### ➤ 連携の経緯

(株)土のめぐみは、12年にわたって熊本県山都町産の生鮮有機JAS農産物を主に関西地区の顧客に対して販売し、安全性に関心の高い層から高い評価を得てきた。村山信一及び中村司郎は、有機農産物を評価する消費者への販売の拡大と規格外品の利用拡大を望んでいたところであり、山都町産有機農産物を活用した新たな商品開発について両者の思惑が合致し、連携に至った。

### ➤ 連携に当たった課題や工夫等

開発する製品は、山都町産の有機JAS認定農産物を用いた冷凍ベビーフードであり、原料の栽培履歴情報が検索可能な生産者の顔が見えるものである。現在2名の有機JAS認定を取得した農業者と連携しているが、今後さらに生産量を伸ばす予定であるため、新たな有機農業者との連携を図っていく。また、製品開発に当たっては履歴情報のほか、使い勝手を考慮し小分けにする等の工夫を行っており、今後は熊本県産業技術センターの指導を受けて進める。

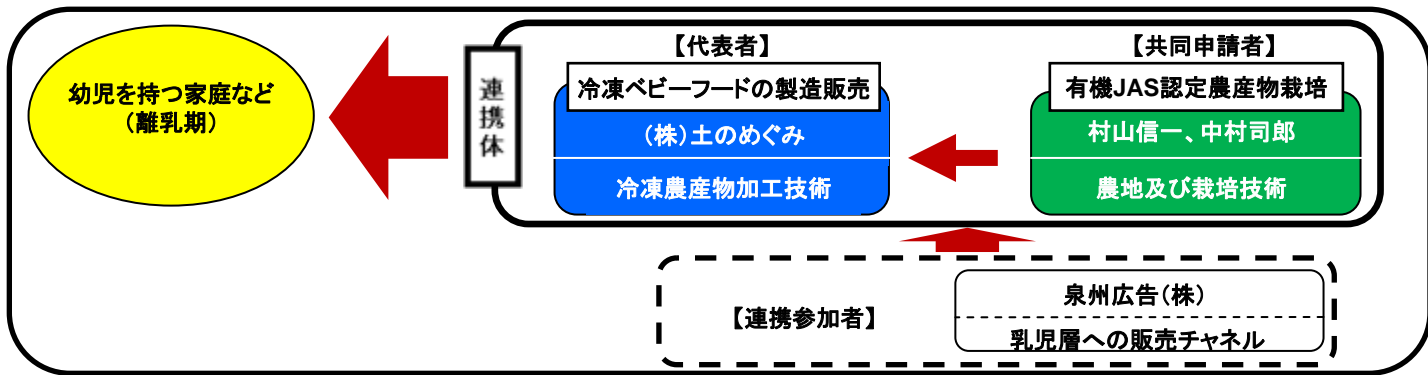


【さといも】



【かぼちゃ】

10gキューブ状にしており、必要量を解凍し、他の食材とあわせて煮込むなどして用いる。



### ➤ 連携による効果

**農林漁業者**      **5年で315万円の売上高増加、有機農業の地域への波及**

有機JAS認定農産物の用途拡大や規格外品の有効利用により、農業経営の安定化に貢献することが期待される。

**中小企業者**      **5年で2,190万円の売上高増加、収益性の改善**

生鮮農産物に加え、冷凍加工農産物への事業展開を図ることで、付加価値が高まることにより、売上の増加と収益性の改善が期待される。

### ➤ 代表企業等の連絡先

企業等名：株式会社土のめぐみ  
TEL：096-772-2332  
E-mail：ken@a-nen.biz

所在地：熊本県上益城郡山都町小笹456-1  
FAX：096-772-1888  
ホームページ：http://a-nen.biz/